

2017 Mutsu
05

【from Kobe 薫風 5月 新緑の便り】

1. 薫風5月 新緑の神戸便り
2. 5月3日 憲法記念日に 平和憲法と立憲主義
3. 「いいから いいから」長谷川義史の世界展の紹介

1. 薫風5月 新緑の神戸便り



桜便りの終わりと共に、西神戸の野山では一機に芽吹き、あっという間に新緑に
刻々変わりゆく緑の中 ピンクのミツバツツジと石楠花が今満開に

2017年 薫風 5月 ほのかな香りを漂わせ、心地よい風が吹き渡る
野山も街も 生命観あふれる うれしい季節
おいしい風を 胸いっぱい吸い込んで、さあ! 飛び出そう!!



須磨アルプスの北側に広がるニュータウン 西六甲縦走路 スマアルプス 東山より



新緑の季節 活気にあふれた営みがこころに 眼を凝らしての街歩きも また楽し
須磨・名谷神戸総合運動公園他でのスナップ

2017年 薫風 5月 新緑の候 いかがでしょうか・・・

葉を揺らす「新樹風」・青葉の間を吹く「青東風」のことばもあると聞く
桜が散る、西神戸の野山では一機に芽吹き、あっという間に新緑に。
刻々変わりゆく緑の中 ピンクのミツバツツジと石楠花が今満開に
ほのかな花の香りを漂わせつつ、心地よい風が吹き渡る
野山も街も 生命観あふれる うれしい新緑の季節
活気にあふれた営みがこころに 気分も爽快 晴れやかに
眼を凝らしての街歩きにも もってこい。
おいしい風を 胸いっぱい吸い込んで、さあ! 飛び出そう!!

2017.5.1. from Kobe Mutsu Nakanishi



2. 5月3日 憲法記念日に 平和憲法と立憲主義

憲法改正論が日増しに高まり、「平和憲法」が葬り去られようとしている。

現自民党政権の理念も何もない憲法改正への横暴ぶりは目に余る。

憲法改正が思いどおりに行かぬと見るや、今度は大学授業料の無償化を憲法の条文に織り込むという。

金でほったたけをたたく現政権のやり方そのもの。現政権の何が何でも憲法改正するという横暴振りが露骨に見える。

一般人に迎合しつつ、義務教育と高等教育・大学教育の違いをおおひ隠し、大学支配をも強めることができる現政権にとっては一石二鳥の策とみえる。一見公平に見えるが、格差を是正せず一律の無料化はさらに格差を助長する。

口では「立憲主義」「積極的平和主義」というが、その実 中身は完全に蔑ろ。最近の政治の実態を見れば明白。

そもそも「積極的平和主義」などというものもおかしな日本語。 平和主義にそんなものはないのである。

現行の平和憲法は立憲主義をとっているが、立憲主義とは権力の行使を憲法で縛る、コントロールすること。

すなわち、立憲主義とは、国家権力を憲法で縛るシステムのこと。個人の基本的な権利が保障され、個人の権利自由が侵害されないために、この立憲主義のシステム「法の支配」が確立されているのである。

現政権の政治の姿勢は 立憲主義を大切にしていると見えるであろうか……。まったく破廉恥極まりなし。

ほかの人の目を通さずに 自分の目で現政権が改正しようとする条文案を読めば、その意図がはっきりする。

今日増しに日本が攻撃されるという戦争の危機が迫っているが、これとても 米トランプ政権と運命共同体をしゃにむに推し進める現政権が作り出したものと言えなくもない。

人類が幾多の絶滅の危機を乗り越え、現在の繁栄を勝ち得たのは唯一「利他を思いやる心」にあったことを歴史が示していることを忘れてはならない。 戦は戦を呼び、ついには絶滅していった歴史は死屍累々である。

一万年も平和で豊かな生活が続いた世界に類のない日本の「縄文」社会。そのエンジンは「他人を思いやる心」

日本人の心の故郷 縄文である。

また、縄文までさかのぼらなくても
「戦後70年 平和憲法の下で日本
は繁栄を築き上げた」燦然と輝く事実
である。

現政権・憲法改正推進者たちは今なぜ
こんなに火急に平和憲法をかえねば
ならぬのだろうか??



安里有生／詩 長谷川義史／画

へいわって なにかな。ぼくは、かんがえたよ。
ねこがわらう。おなかがいっぱい。やぎのんびりあるいてる。ちょうめいそうがたくさんはえ、
よなくにうまが、ヒヒーンとなく。
みんなのころから、へいわがうまれるんだね。
これからも、ずっとへいわがつづくように、
ぼくも、ぼくのできることからがんばるよ。

安里有生／詩 「へいわって すてきだね」全文

2013.6.23. 沖縄全戦没者追悼式で 1年生の安里有生君が朗読

一般人・市民として 自分の目で見て
確かめることが 本当に必要になっている。
小学生安里有生さんが、沖縄平和式典で朗
読した自作の詩「へいわってすてきだね」
が、心に強く響く。

平和憲法は日本の柱 平和憲法を守ろう
国の大きな転換点 今 声を上げねば !!
平和を今 自分の頭で考えよう!!

戦後70年を生きてきた一人として、
年寄りのたわごとと言われようと
若い人たちに伝えねばと。

へいわって なにかな。
ぼくは、かんがえたよ。
おともだちとなかよし。
かそくが、げんき。
えがおであそぶ。
ねこがわらう。
おなかがいっぱい。
やぎのんびりあるいてる。
けんかしてもすくなくなおる。
ちょうめいそうがたくさんはえ、
よなくにうまが、ヒヒーンとなく。
みなとは、フェリーがとまっていて、
うみには、かめやかじきがおよいでる。
やさしいころがにじになる。
へいわっていいね。へいわってうれしいね。
みんなのころから、
へいわがうまれるんだね。

せんそうは、おそろしい
「ドドーン、ドカーン。」
ばくだんがおちてくるこわいおと。
おなかがすいて、くるしむことも。
かそくがしんでしまっ て なくひとたち。

ああ、ぼくは、へいわなときにうまれてよかったよ。
このへいわが、ずっとつづいてほしい。
みんなのえがおがずっと、つづいてほしい。

へいわなかそく、
へいわながっこう、
へいわなよなくにじま、
へいわなおきなわ、
へいわなせかい、
へいわってすてきだね。

これからも、ずっとへいわがつづくように
ぼくも、ぼくのできることからがんばるよ。

2017.5.3. 憲法記念日に

by Mutsu Nakanishi

3. 「いいから いいから」 長谷川義史の世界展の紹介

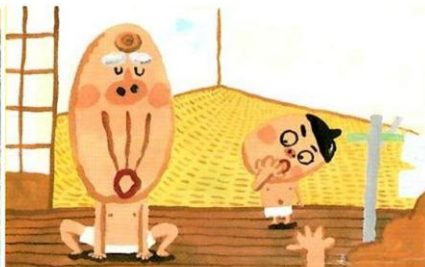
TV「ちちんぷいぷい」の「とびだせ えほん」で 街歩きをしながら、出会った人や風景 をそのままスケッチする絵本作家の長谷川義史さんの街歩き。ふっと忘れていた街の一場面を見事に写し、呼び起こしてくれる。気楽な優しい語り口で 街の人に溶け込んでゆく姿に人柄と共に「こんな街歩きをしたいなあ〜!!」といつも笑顔に。その余韻はさわやか。私にはないキャラクターである。

その絵本作家 長谷川義史さんの絵本原画展が 明石で今開かれている。

「いいから いいから」と 何事にもニコニコ 語りかけてくれる世界は平和と優しさそのもの。展覧会も絵本そのもの。見ている人もみんな笑顔で楽しんでいる。絵とともに横に書かれた文章に思わず、読み聞かせの世界に引き込まれてゆく。楽しい絵本を原画で読め、また いろいろ楽しい場の設定も……。こんな楽しい展覧会久しぶりでした。雰囲気伝われば……。 また、街の本屋で長谷川さんの絵本 手に取っていただければ。そんな長谷川さんの絵本の世界の展覧会 おすすめです。代表作「いいから いいから」のほか絵本の題名からも そんな世界の楽しさが見える



「おじいちゃんのおじいちゃんのおじいちゃんのおじいちゃん」



「いいから いいから」



「てんごくのおとうちゃん」



「おかあちゃんがつくった」



「だじゃれ日本一周」



「大阪うまいものうた」



「へいわってすてきだね」



「ちちんぷいぷい とびだせ! えほん 神戸北野」



「大阪うまいものうた」

「いいからいいから」長谷川義史の世界展 絵本原画
「いいから いいから」長谷川義史の世界展紹介パンフレットより



へいわってなにかな。ぼくは、かんがえたよ。
ねこがわろう。おなかがいっぱい。やぎのんびり
あるいてる。ちょうめいそうがたくさんはえ、
よなぐにうまが、ヒヒーンとなく。
みんなのころから、へいわがうまれるんだね。
これからも、ずっとへいわがつづくように、
ぼくも、ぼくのできることからがんばるよ。

安里有生/詩 長谷川義史/画

「へいわってすてきだね」の絵本 小学生安里有生さんの平和式典での朗読に感動して、私のHPのtop pageに毎度掲載されている絵。これも長谷川さんの挿絵。この詩を読んだとき、そして、取材に波照間へ安里さん親子に会いに行ったときのエピソードも 絵本とともにこの展覧会にありました。

絵本ということもたちのものという考えもありますが、どちらが主役かわかりませんが、絵とともに添えられている短い言葉にもほのぼのと感動する。「いいからいいから」「ごらくごらく」と。

高校生になった孫娘が幼稚園・1年生の孫によく絵本を読んでやる。実にうまい。思わずひきこまれ、感動することがある。

「読み聞かせ」の世界というそうですが、インターネットの中にもたくさん長谷川さんの絵本の読み聞かせがアップされている。そんなサイトがたくさんあるので参考に。

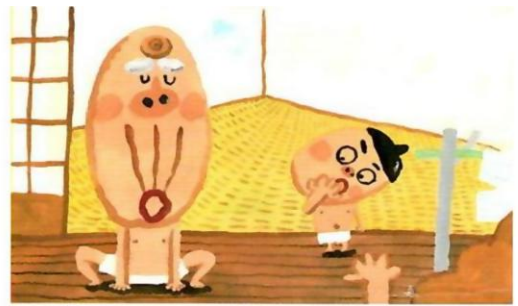
● google 検索 動画検索 「長谷川義史 絵本」

◆ sun よみきかせ「いいからいいから」(1) <https://www.youtube.com/watch?v=P1TzeQZnakY>

2017.4.14. 展覧会の後
魚の棚でたこ焼き(卵焼き)食べながら
by Mutsu Nakanishi

◆よみきかせサイト例

sun よみきかせ「いいからいいから」(1) <https://www.youtube.com/watch?v=P1TzeQZnakY>



「いいから いいから」

雷さん親子がやってきて、「いいから いいから」と歓待したおじいちゃん。おへそを取られて困っていましたが、送り返されてきたおへそをおでこにつけてしまっって……それせでも「いいから いいから」と。
長谷川さんの代表作「いいから いいから」シリーズの第一冊目 笑っちゃいました。



「おじいちゃんのおじいちゃんのおじいちゃんのおじいちゃん」

おじいちゃんのおじいちゃんのはだれ? にはじまって、「じいじいじいじい…… じいじいじい……のおじいさんは?」最後のページにお猿さんができました。

「おかあちゃんがつくったる」も好きな絵本です

《 ご参考に 神戸新聞の記事より 》

「いいからいいから」長谷川義史の世界展」より 神戸新聞記事より

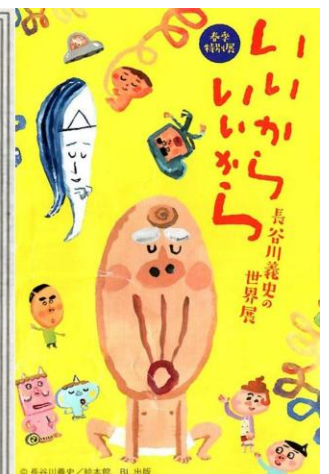


「いいから いいから」©長谷川義史/絵本館

こどもたちに大人気の絵本「いいから いいから」。どんなことでも大きな心で「いいから、いいから」と穏やかに受け入れる「おじいちゃん」を中心に展開される、愉快なストーリーが魅力です。
元々は、長谷川さんによるイベント「絵本ライブ」の場で、即興で描く紙芝居として披露されていた。

「いいから」と何事も笑顔で受け止めることができれば、争いごとともなくなるはず。楽しい絵本のなかにも、長谷川さんの平和への願いが込められています。
(明石市立文化博物館学芸員・前田麻奈実)

春季特別展「いいからいいから 長谷川義史の世界展」(神戸新聞社など主催)は5月21日まで、明石市立文化博物館(同市上ノ丸2)で開催。会期中無休。一般千円。☎078・918・5400



2017.4.8(土)～5.21(日)

午前9時30分～午後6時30分 全額中絶
4月8日(土)のみ、午前10時00分～午後6時30分
(入館は午後6時まで)

明石市立文化博物館



神戸新聞記事より
「いいからいいから」長谷川義史の世界展」より 中



「おかあちゃんがつくったる」©長谷川義史
／講談社

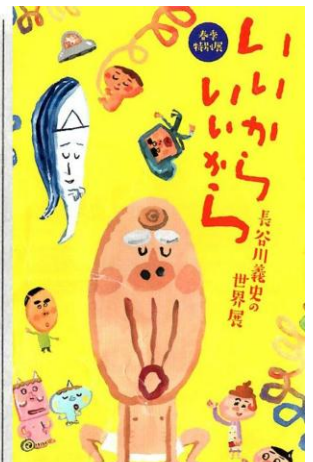
なんでもミシンで作ってしまう
おかあちゃん。クラスの友達を買
ってもらったジープも、かっこ
いい鞆も「かわんでも おかあ
ちゃん ミシンで つくったる
わ」と、一晩で仕上げてくれます。
けれども、ちよつと愛。友達と
少し違う、愛情たつぷりの品を身
につけ、恥ずかしい気持ちになる

春季特別展「いいからいいから
長谷川義史の世界展」(神戸新
聞社など主催)は5月21日まで、
明石市立文化博物館(同市上ノ丸
2)で開催。会期中無休。一般千
円。☎078・918・5400

前田麻奈実

あたたたかい家族の愛情と少しの
切なさ。穏やかな画風で丁寧に表
現された、かけがえのない日々が、
ほろりと涙を誘います。
(明石市立文化博物館学芸員・
前田麻奈実)

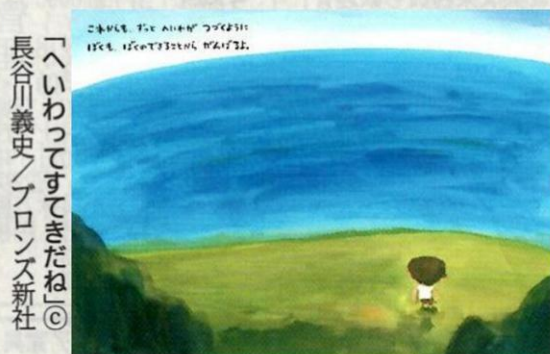
「ぼく」。
この絵本は長谷川さんの幼少期
の体験をもとに描かれた、自伝的
な作品です。
小学生の頃に父を亡くした長谷
川さんと姉を、女手一つで育て上
げた母。「てんごくのおとうちゃ
ん」と、その後口談にあたる「お
かあちゃんがつくったる」には、
両親や家族との大切な思い出が描
かれています。



2017.4.8(土)～5.21(日)
午前9時30分～午後6時30分
4月8日(土)のみ、午前10時00分～午後6時30分
(入館は午後6時まで)
明石市立文化博物館



神戸新聞記事より
「いいからいいから」長谷川義史の世界展」より 下



「へいわってすてきたね」©
長谷川義史／フロンヌス新社

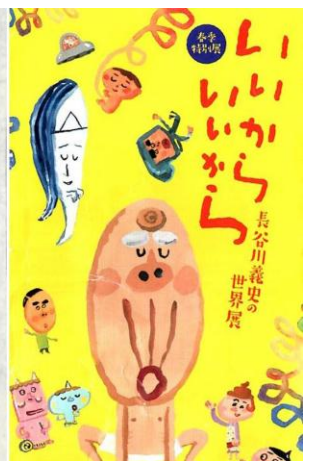
穏やかな海を見つめる一人の少
年。美しく澄んだ青と豊かな緑が
目を引きまします。
この絵本「へいわってすてきた
ね」は、6歳の少年が自ら詩作し
沖縄慰霊の日の式典で読んだ詩を
もとに描かれました。

春季特別展「いいからいいから
長谷川義史の世界展」(神戸新
聞社など主催)は5月21日まで、
明石市立文化博物館(同市上ノ丸
2)で開催。会期中無休。一般千
円。☎078・918・5400

前田麻奈実

素朴で純粋、優しさに満ちた詩
は感動を呼び、やがて長谷川さん
のもとに絵本化の依頼が舞い込み
ます。
多くの試作を経て完成した絵本
には、少年の暮らす与那国島の光
や自然、動物、人々がいきいきと描
かれ、平和が続くように願う、まっ
すぐな思いが表現されています。
身近なものに向けられた優しい
まなざしを通じ、あらためて平和
について考えるきっかけとなる絵
本です。

「えらいことになった」と感じ
ながらも、今描かなければ、大人
として、絵描きとして、逃げるこ
とはできない、と決意し、絵本化
を引き受けることに。



2017.4.8(土)～5.21(日)
午前9時30分～午後6時30分
4月8日(土)のみ、午前10時00分～午後6時30分
(入館は午後6時まで)
明石市立文化博物館



